



部活訪問シリーズ② — 男バス2年集合! (11月6日 体育館)

前号で紹介した「全集中」。もっと映画のヒットが早ければ「鬼滅の刃」とともにノミネートされていたかもしれません。

先日、今年の新語・流行語大賞の候補 30 が発表されました。その半数を占めるのがコロナ関係です。それらの言葉を並べてみると…

新型コロナで始めて知った「PCR検査」「濃厚接触者」「クラスター」。医療従事者や「エッセンシャルワーカー」の苦労に頭を下げ、なぜか心では疫病を収めてくれと「アマビエ」頼み。手元に届いた「アベノマスク」をみつめ、やはり頼りは

「3密」「ソーシャルディスタンス」の「新しい生活様式/ニューノーマル」が基本と思い直す。大人の世界では「テレワーク」に急展開。学校の授業も「オンライン〇〇」が取りざたされる。休業中の「お家時間/スティホーム」では、ゲーム・「あつ森」に夢中。第1波を乗り越え、安心の表れか「Zoom映え」を気にし、経済を盛り返えそうと「GoToキャンペーン」。「NiziU」プロジェクトに同世代のひたむきさを知り我が身を省みる。

想像もできなかった1年。「時を戻そう」—誰もが考える言葉を押さえ、前を向く2021年に。

## 新語・流行語

